

第25回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

<フリートーク型>

と き	平成28年7月21日（木） 午後2時～3時30分
と ころ	小田支所 3階 ホール （長洲中通1丁目6-10）
参加者等	参加者 11人、市長ほか関係者 12人 計23人

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明（職員）

2 市長から説明

(1) 『「ひと咲き まち咲き あまがさき」に向けて 人口ビジョン・尼崎版総合戦略』について

全国的に人口減少時代に突入している状況であるが、今まで経験したことのない時代に突入していくわけですが、それに備えた対応策、戦略を練っていかないといけない

尼崎市においても昭和45年の55万人（高度成長期の労働者流入等）をピークに下がり続けて、現在は約45万人。これら人口推移、また年齢別の転出入の状況（20歳台の転入超過、30歳台・乳幼児の転出超過などの特徴）、本市の取り組み、戦略等について説明

基本目標として、1 ファミリー世帯の定住・転入の促進 2 経済の好循環と「しごと」の安定化 3 超高齢化社会における安心な暮らしの確保 を3点セットで関連しながら進めて行く。

(2) 「平成28年度施政方針」について

上記尼崎版総合戦略を前提とした中で、まずは今年は市制100周年という大きな節目であること。

「知れば知るほど あまがすき」というキャッチフレーズでみんなでお祝いするとともに、歴史を知るチャンス、発信するチャンスにしたい。

重点化目標としては、1 市民自治のまちづくり…自治基本条例の制定、みんなの尼崎大学など

2 教育・子育て…子どもの育ち支援センターの設立準備、英語学習事業、クーラーの設置など

3 安全・安心のまちづくり…駅前の放置自転車や交通マナー、ひったくり防止など街頭犯罪防止など

3 市民と市長との対話

・尼崎の農業について…尼崎市は都会でありながら緑が多い。南部には森があり、北部には田畑がある。

市民農園は人気で不足している状態。高齢者の方が今までの経験を生かしたものづくり支援の一つとして農業のサポートを行うような仕組みを作ればどうか。

・臨海部へのアクセスについて…市南部、21世紀の森へは自転車道の整備等を行っているが、遠いイメージ。

⇒小学校の子どもたちには必ず1回は行ってもらっており、バスの予算を付けている。

一度も行ったことのない人に行ってもらうための方策・仕掛けづくりが課題。

・市職員に対する不信感と補償制度について…市職員の対応に不備があり交通費3万円の被害を受けたが損害賠償制度がないと聞いた。同じような目に遭った方がいるかもしれないのでぜひ対策を。

⇒こういった費用を弁償する仕組みがなく損害賠償請求をするしかない。ただ、裁判などで訴えられる前に一定の手続きで費用を弁償する仕組みはないのが現状。

- ・市営住宅の住民同士の騒音問題について…ドアを蹴ったり大声を出したりする住民がいて迷惑なので、市営住宅担当にも管理センターにも話し、警察も呼んだことがあるが解決しない。
⇒警察を呼んでも証拠がないとだめなので、どなり声を録音したり写真を撮るように！
- ・商店街や市場の奥がシャッター通りとなっているが高齢者は市場がいい。何か活用しないのか…
⇒空いているお店を使って新たな商売を始める方への応援する施策はある。また買い物難民とならないよう一人暮らしの高齢者宅に配達できるようなシステムを学生と商店街が検討中。
- ・文化財収蔵庫の建物の中が暗くて、もう一度行こうという気にならない。改良していただけないか…
⇒元々、歴史博物館構想があったがバブルがはじけて財政が厳しくなり計画も白紙になった経緯がある。数々のコレクションがあるが展示場所がなく、中途半端な残念な状態。そこで、学校敷地を再利用し文化財収蔵庫に。現在は1階のみ使用している。土日も開館している。小学生が社会見学で勉強したり活用しているが、100周年を機に、「歴史館」として2.3階も含めた総合的な整備・改修を行い、今まで収集した資料も展示し、皆さんにホッとしていただけるといいものになりたい。詳細は決まっていないが、「尼崎城の成り立ち」や「尼崎の歴史」そのものも常設展示したい。
- ・100周年に平和宣言をしてほしい…
⇒既に平和宣言は行っている。周知の意味としての提案は受け取る。
- ・お金がないと言いながら公共施設にチラシが多い。あれだけ多く必要なのか…
⇒市は財政が厳しいので印刷予算も少ない。チラシについては市の発行物だけでなく市民や団体が持ち込むものもある。人それぞれ価値感や関心のあることが違うし必要な情報も異なる。市としてはいかに効果的にチラシ（情報）を届けるか、スマホなど様々な媒体で情報提供するかが課題。
- ・高校生のマナーが悪い…スマホをしながら自転車を運転している学生たちに注意したが聞かない。ルールを守らない子が多い。また、フードコートなどで、かばんで席を陣取り飲み物も頼まず勉強している子がいる。そもそも勉強すべきでないし、混雑時は席を空けるべきだ。

○ 市役所での体験、職員の対応について言いたいことがあれば・・・

- ・図書館で勉強していたら、ここは本を借りて読む人のための場所だから勉強してはいけないと追い出された。西宮の図書館ではそんなことはないのでは西宮まで行っている。
⇒尼崎の図書館には自習専用の部屋があるのでそこでは勉強できる。自習室がいっぱいで他の部屋を使ったから注意されたのではないか。
- ・図書館をよく利用するが、気持ちよく対応してくれる。
- ・本庁で事前に電話連絡して行き、〇〇さんお願いしますと行ったら、窓口職員に「なんや！」と言われた。また、わざわざ本庁に行ったのに、支所でもできるのに何で本庁に来たんや、と言われた。
- ・地元の支所で相談してわからない場合に本庁へ行けばいいと思っている。
- ・先日、社会保険から国民健康保険に切り替えたが、担当職員がササっとしてくれて気持ちよかった。

○ 最後に、市長から

団塊の世代の方が大量に退職し、職員の世代交代が急激に進んでいるというのもあり、人事異動もあり、こういったミスも起こりやすくなっているのかも知れない。職員の接遇研修というのは、永遠の課題というか、これで十分というのではないので、常に、継続的にやっていきたい。

多岐にわたる話題があり現場の切実な思いも聞かせていただいて、ありがとうございました。